

## 名寄東小学校の屋内運動場が完成



名寄東小学校の旧体育館は昭和35年に建築され、昭和50年に増築されました。校舎は平成2年に改築されましたが、体育館は後年度へと繰り延べとなっていました。

しかし、老朽化が著しく、耐力度調査でも危険度が高まっていたため平成21年度と22年度の2カ年計画で改築事業に取り組むこととなりました。昨年12月に工事が完了し、同校の始業式と合わせ1月11日に落成式が執り行われました。

落成式では、児童、学校関係者などが完成を祝い、1月29日にはこけら落としとして学習発表会が実施されました。

### 新体育館の概要

構造	鉄筋コンクリート造り一部鉄骨造り 平屋
面積	888㎡（渡り廊下含む）
総工費	2億6,500万円
施設設備	蓄熱式温水床暖房 ステージ下収納 フリースペース （クライミングウォールを設置） 多目的室 トイレ（男子、女子、多目的）

## 加東橋が全面開通

市道19線道路の整備にあたり、地域の皆さまや道路を通行される方にご不便をおかけしていますが1月17日に加東橋（共和178番地先）が全面開通となりました。

市道19線道路は、平成13年度から名寄バイパスから東5号（広域農道）をアクセスする道路として整備を行ない、平成18年度に合併とほぼ同時に見直しを図り、平成19年度からは、6カ年計画で19線道路舗装新設事業として東5号から20線東3号までの整備を進めてきました。

本線整備の区間にある加東橋は、昭和46年11月、橋長31.5m、幅員4.5mで架設されましたが、39年経過し老朽化が著しく、大型車両の通行には狭隘（きょうあい）となっていたため、本線整備のなかで改築することとなり、平成21年度に着工し、昨年12月に完成しました。新たな橋の構造は1径間、鋼単純鉸桁（こうたんじゅんぼんげた）、橋梁延長は32.8m、総幅員11.5m、有効幅員8.0m。

1月17日に関係者らにより開通式が行われ、全面開通しました。

今後、2カ年の事業計画は路盤工703m、舗装工1,507mで、事業費は1億5,752万円を予定しており、事業完了後は、名寄地区、風連地区の地域間交流の拡大、円滑な物流の向上と利便性、安全性の向上が期待されます。

### これまで4年間の総事業費と財源内訳

総事業費	4億0,548万円
地域活力基盤創造交付金	2億5,694万円
合併特例債	1億3,590万円
一般財源	1,248万円
その他（鋼材売り払い収入）	16万円

